

### Ⅲ 親愛南の里（令和5年度事業計画/事業報告）

#### 1. 令和5年度経営方針

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、生活介護・施設入所支援・短期入所の管理・運営を通して、障害者が安全で豊かな暮らしを営むことができるよう、必要な施設サービスを提供する。また、施設・設備の経年劣化に対応するため、収入の確保と支出のバランスを図りながら、必要な財源を確保する。

##### (1) 利用者支援

- ア 令和5年度の取組として、感染症発生時の集団感染(クラスター)を防ぐとともに、利用者間で生じるトラブルやストレスの軽減を目的として、各階別・男女別のユニット式支援を進める。
- イ 今後も新型コロナ・インフルエンザなど指定感染症の流行が想定されることから、小集団・屋内で実施可能な日中活動メニューの工夫や充実に努める。
- ウ 地域支援では短期入所や日中一時支援を通じて在宅で暮らす障害者を積極的に受け入れ、障害者の地域生活を支える拠点施設としての機能を発揮する。

##### (2) 老朽化対策

老朽化が進んだ業務用洗濯機及び乾燥機の更新や仕切扉の修繕を行うほか、前年度に続き館内照明のLED化を進め、居住環境の改善と電気代などランニングコストの低減を図る。

##### (3) 福祉サービスの内容

- ア 施設入所支援事業 主に夜間や休日において、生活の場にふさわしい日常生活支援サービスを提供する。
- イ 生活介護事業 障がい特性や利用者本人の意向をもとに、健康維持や生きがい支援につながる日中活動支援サービスを提供する。
- ウ 短期入所事業・日中一時支援事業 在宅の利用者を対象に地域における福祉施設としての役割を十分認識し、家族が安心してサービスを受けられるようサービスの質の向上を目指す。

#### 2. 令和5年度取り組み

##### (1) 利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア きめ細やかな健康観察と医療的支援	利用者の健康状態を表情・体温・食欲・排泄などから把握し、職員間で情報共有と連携を徹底し、適切な通院支援や服薬支援を提供する。	日常的な検温や様子観察を通じて体調異変を早期に発見し、早めの通院支援を行うことで異常の早期発見と重篤化防止に努めた。
イ 安心して落ち着いた生活環境の提供	利用者間のトラブルやストレスの軽減を図るため、各階別・男女別のユニット方式の支援を進める。	ユニット対応により感染時の拡大防止や利用者間トラブルの軽減に一定の効果が見られた。ユニット支援については、利用者への影響を踏まえつつ無理のない範囲で実施する。 ※仕切扉の利用について検討後、改めて実施
ウ 虐待防止・権利擁護	(ア) 「権利擁護・虐待防止委員会」を定例開催し、支援方法の点検と妥当性を検証する。 (イ) 全職員を対象とした「虐待防止・権利擁護研修」を年1回以上実施し、	(ア) 権利擁護・虐待防止委員会を毎月開催し、権利擁護に関する支援の現状と対応を協議した。 (イ) 全職員に虐待防止・権利擁護研修を実施した。(3月)

	職員の権利擁護に関する意識の向上を図る。	
エ 安全で彩りある食事の提供	ソフト食・刻み食など利用者の咀嚼・嚥下機能に合わせた安全な食事を提供する。 また季節の行事食やご当地メニューを取り入れた彩りある食事を提供する。	厨房調理業務に関する様式の見直しや点検業務の見直しを行い、給食における衛生管理体制の強化を行った。また「誕生日食」や「ごちそうの日」を設定して豊かな食生活の提供に努めるとともに、利用者の摂食機能の低下に配慮し、安全性に加えて見た目にも工夫したソフト食や刻み食を提供した。
オ 日中活動	買物外出や観光外出に加え、施設内でのスノーブレン活動・散歩・体操・映画鑑賞など屋内外での活動メニューを準備して日中活動を支援する。	新型コロナの流行が収束傾向になったことから、従来の日中活動メニューを再開するとともに、新たにホールを活動した余暇支援活動を設定し、計画的な日中活動支援を行った。また川越市立高校ブラスバンド部を招いてクリスマス会を行うなど、地域との交流にも努めた。

## (2) 人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 外部研修への参加	(ア) キャリアパスや育成課題など個々のレベルに応じた研修を、オンラインも活用しながら効果的に実施。 (イ) 「強度行動障害支援者養成研修」未受講者を受講させる。	(ア) オンライン研修を中心とした外部機関研修に延べ33人が参加した。 (イ) 新採・異動職員1名に強度行動障害養成研修を受講させ、行動障害の理解と知識促進を図った。
イ 内部研修への参加	新任職員への OJT や計画的に内部研修へ参加することで、障害特性と高齢化に伴う支援へのスキルを高める。	新規配属職員に対し、職員に求められる基本的知識・技能が習得できるよう OJT 研修を実施した。

## (3) 施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 施設の老朽化対策	令和5年度の主な工事・設備の整備。 (ア) 2階照明 LED 化工事(第2期)。	(ア) 2階 LED 照明の交換工事を実施(4月) 建物取得支出 2,970 千円
イ 設備・備品の修理・更新	(ア) 業務用洗濯機・乾燥機更新。 (イ) 仕切扉修繕(4カ所)。 ※再掲	(ア) 事業計画に基づく設備の更新(4月) 器具取得支出 2,758 千円 (イ) 令和5年度の実施を見合わせ、今後の利用方法について検討後に改めて実施することとした。

## (4) 危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 感染症対策	(ア) 日々の健康チェックと感染防止対策の徹底。 (イ) 流行状況にあわせた外出先や活動内容の変更。	(ア) 利用者の体調不良の早期発見や速やかな通院支援を行った。 (イ) 流行状況に応じて外出先の検討などを行った。

	(ウ) ユニット式支援によるクラスターの予防。	令和5年度の施設内感染は、新型コロナウイルスとインフルエンザとも各1件に抑えることができた。 (ウ) 発熱した利用者を確認後、速やかにユニット間の移動を制限するなどして施設内感染を防いだ。
イ 防災・防犯対策	(ア) 年4回の防災訓練を実施、うち1回は消防署の立会い指導による防災訓練を行う。 (イ) 地元自治会役員の防災訓練参加を依頼する。	(ア) 5・9・1・3月に避難訓練を実施した。5月は高階分署の立会いで総合防災訓練を実施した。 (イ) 総合防災訓練には下赤坂自治会長の参加を得ることができた。
ウ 業務継続計画(BCP)の策定	令和3年度報酬改定に伴い、感染症や災害時の業務継続計画(BCP)の策定が義務化(令和5年度末まで)されたため、策定準備を進める。	法人及び親愛南の里の感染症・災害時におけるBCPを策定した。
エ 安全運転管理	(ア) 安全運転支援装置がついたリース契約車両に切り替える。(車両2台) (イ) 業者による法令点検の実施。(1年点検) (ウ) 運転時の酒気帯びチェックの実施。 (エ) 運転免許状況の確認。	(ア) 低年式車に代え、シエンタ(5月)とノア(3月)に切り替えた。(リース) (イ) 専門業者による車検・年次点検を実施した。 (ウ) 運転前後のアルコールチェックを徹底。 (エ) 職員の運転免許状況を確認した。

(5) その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	5年度実績
ア 地域社会との共生	(ア) 短期入所や日中一時支援を通じて、施設の拠点施設機能を果たす。 (イ) 実習生を受け入れるとともに、広く中高年層やパート労働者を積極的に活用することにより、福祉人材の確保と障がい福祉の啓発を図る。	(ア) 地域のニーズに応えられるよう受入れを進めた。短期入所受入延日数 1,368日(R4比435日増) (イ) 実習生の受入れを再開するとともに、3名のパート職員を確保した。
イ 情報共有の促進	ケアコラボを活用して日々の利用者支援や必要な情報の共有を図るほか、勤務時間の短い非常勤職員向けに定例会議を実施する。	ケアコラボを活用して情報共有に努めたほか、「非常勤職員会議」を定例化し、勤務時間の短いパート職員についても情報共有と意見の聴取に努めた。

■ 親愛南の里（令和5年度事業報告 資料）

令和 6 年 3 月 31 日現在

1 利用者状況

(1) 障害支援区分(名)

支援区分	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
区分 6	18	6	24	1	0	1
区分 5	4	6	10	0	0	0
区分 4	1	2	3	0	0	0
区分 3	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	0	0	0
区分 1	0	0	0	0	0	0
合計	23	14	37	1	0	1

(2) 年齢構成(名)

区分 種別	性別	20 歳 未満	20 歳以 上 ~ 30 歳未満	30 歳以 上 ~ 40 歳未満	40 歳以 上 ~ 50 歳未満	50 歳以 上 ~ 60 歳未満	60 歳 以上	平均 (歳)
		(入所)	男	0	1	3	3	11
女	0		0	0	2	5	7	61.4
計	0		1	3	5	16	12	56.5
(通所)	男	0	0	0	0	0	1	68.5
	女	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	1	66.0

(3) 通院・入院状況 (回)

※訪問歯科受入 12 回

		精神科	内科	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	婦人科	歯科	その他	計
		入所	49 (+4)	55 (+8)	22 (-15)	1 (-3)	0	9 (-2)	32 (+6)	1 (-1)	257 (-3)	40 (+2)
通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	件	1 (-4)	3 (0)	8 (0)	0	0	0	3 (+2)	0 (-1)	0	0	15 (-2)
	日	38 (-62)	118 (-62)	450 (+313)	0	0	0	167 (+142)	0 (-3)	0	0	773 (+428)

## 2 事業所状況

### (1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	35.6	89.1
生活介護	40	35.6	89.0
短期入所	10	3.7	37.4
日中一時支援	—	32人(延人数)	—

### (2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味(茶道・コーラス)	0	その他(理美容・施設体験ボラ)	161
行事活動(クリスマス会)	40		
環境整備(畑ボラ)	10	合 計	211

### (3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	10	21	252